

2022年1月のレコードコンサート

☆…今月のテーマ【ジャズ・トランペッター】

♣…ジャズビギナーにオススメ

日	曜日	管理番号	ジャケット名	アーティスト	ひとこと	
4	火	09429	エクストラポレーション	ジョン・マクラフリン	《記念日》1942年1月4日生	
5	水	—	休館日			
☆	6	木	11197	ザ・ベスト	日野 皓正	日本が誇るトランペッター日野皓正のベスト・アルバム。和田誠による印象的なジャケットにも注目！
	7	金	07215	イントロデューシング	ケニー・ギャレット	伝統的かつモダンな感性を兼ね備える有能な若手といわれたケニー・ギャレット初リーダー作。
☆	8	土	02272	ブルー・ヴィン・ハイ	ディジー・ガレスピー	ホーンが上を向いた独特なトランペットで、ビバップの時代を牽引した伝説のトランペッター。
		—	19:00～ブルー・ウェーブ・ジャズ・フォーラム・レコードコンサート 『軽快なドラムが響くファンキー・ジャズ』アート・プレイキー&ザ・ジャズ・メッセンジャーズ「モーニン」			
♣	9	日	07522	サラ・ヴォーン・ウィズ・クリフォード・ブラウン	力強くも甘くでソフトなサラ・ヴォーンの歌唱力をじっくりと堪能できる初期の代表作。	
	10	月	02119	マックス・ローチ・プラス・フォー	マックス・ローチ	《記念日》1924年1月10日生
☆	11	火	01927	フェアウェル	南里 文雄	“日本のサッチモ”と呼ばれ戦前から活躍していたトランペッター。生前最後となった一枚。
	12	水	—	休館日		
	13	木	04931	キャッチ・ミー	ジョー・バス	《記念日》1929年1月13日生
	14	金	02393	ザ・サイドワインダー	リー・モーガン	大胆で破天荒なプレイが魅力！ジャズ・ロックの元祖とも言われるタイトル曲は8ビートを導入した名作。
☆	15	土	07517	スタディ・イン・ブラウン	クリフォード・ブラウン	夭折の天才トランペッターの名演奏を記録した、モダン・ジャズの名盤。
☆	16	日	01156	アイ・ラヴ・ジャズ!	ルイ・アームストロング	“サッチモ”の愛称で慕われたジャズ創世記の巨星。今なお愛され続けるキング・オブ・ジャズ!
	17	月	08793	ソングス・イン・メロウ・ムード	エラ・フィッツジェラルド	エリス・ラーキンスのピアノをバックに、丁寧に歌い上げたメロウな一枚。
	18	火	101001 (CD)	ザ・ジャズ・シンガー	森山 良子	《記念日》1948年1月18日生
	19	水	—	休館日		
☆	20	木	02424	フュエゴ	ドナルド・バード	“プロフェッサー・バード”の別名でも知られる人気トランペッターが放った究極のファンキー・アルバム。
☆	21	金	07667	オープン・セサミ	フレディ・ハバード	デビュー盤。時代を超えて燦然と輝き続けるハード・バップの傑作です。
	22	土	00162	ファースト・プレイス	J.J. ジョンソン	《記念日》1924年1月22日生
		—	19:00～ブルー・ウェーブ・ジャズ・フォーラム・レコードコンサート 『ピアノ・トリオの新たな可能性』ビル・エヴァンス「トリオ '64」			
	23	日	12136	マイナー・スウィング	ジャンゴ・ラインハルト	《記念日》1910年1月23日生
☆	24	月	03541	ミラージュ	沖 至	フリー・ジャズの先駆者の一人。メロディ・メーカーとも呼ばれた沖の本領が遺憾なく発揮された作品。
☆	25	火	11505	ディブレイク	チェット・ベイカー	晩年の最高傑作との誉れ高い名盤！コペンハーゲンのクラブ「モンマルトル」でのライブ録音。
	26	水	—	休館日		
	27	木	09533	スウィート・ブロッサム・ディアリー	ブロッサム・ディアリー	ピアノ・トリオのアットホームな演奏に、チャーミングな歌声をじっくりと堪能♪
☆	28	金	10036	クワイエット・ケニー	ケニー・ドーハム	いぶし銀の味わい深いプレイ。美しいメロディ・ラインとリリカルな表現を存分に発揮した作品。
♣	29	土	04089	グレン・ミラー・イン・トーキョー		1966年グレン・ミラー楽団の東京公演を収めた一枚。お馴染みの曲を数多く収録。
	30	日	00059	ジャズ・デテ・ア・デテ	タビー・ヘイズ, トニー・コー	《記念日》タビー・ヘイズ 1935年1月30日生
☆	31	月	00262	マイルストーンズ	マイルス・デイヴィス	“モダン・ジャズの帝王”と呼ばれたジャズの巨人。軽快さと歯切れのよさはもちろん一級品。